

# 総合評価 適切運用探る

## 加算、除算方式検証

### 手続き短縮の標準型検討

国土交通省は、総合評価方式の適切な運用に向け、3月下旬までに加算方式と除算方式の取り扱いや手続きの効率化などについて一定の結論を出す方針だ。評価値を算出する加算、除算方式については、高度技術提案型、標準型、簡易型の各タイプにどの方式がなじむのか議論する。手続きの効率化は、入札説明書の交付から申請書・資料の提出までの期間が短い標準型の新設を検討し、その結果を踏まえ、2008年度の総合評価方式案件から適用していく。

国交省

公共工事における総合た工事になじむかを引き上げる方向だ。評価方式活用検討委員会（部会）のマネジメント部会（部）は、評価値の算出方法について、技術力をより重視する高度技術提案型に

簡易、標準の各タイプを選定する際、工事規模（金額）で機械的に線引きすることが多いため、規模が小さくても技術力が必要な工事の場合、簡易型にもかかわらず、本来必要のない技術的工夫を受けにくく、より応札者の技術力を重視した方式といえる。ただ、除算方式でも技術評価点のウェイトを上げれば同様の効果が得られるため、技術力と価格に対するウェイト配分も含めて加算、除算の各方式がどういった

30日に設定しているが、新たな標準型では、簡易型と同じ10日に設定する見通しだ。ただ、現行の標準型と入札手続き期間の短い標準型に分けた場合、どちらに発注工事が該当するのかの判断が難しいという意見が出たため、今後、議論を深めていく。

国交省は、3月27日にマネジメント部会で結論を出す。また、並行して公共工事における総合評価方式活用検討委員会を港灣空港の4つの作業部会は、工種ごとの総合評価方式のあり方をそれぞれ検討し、基本的考え方、示した指針や代表的な工種の事例集をまとめ

20年 1月 11日

建設通信新聞